

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策 I-4-2 経営安定化の支援
---------	-------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	中小企業課長 野坂 一弥	電話番号	0852-22-5881
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	小規模企業者等の設備導入に対する金融事務（設備貸与事業）		
目的	(1) 対象	県内の中小企業者又は小規模企業者	
	(2) 意図	経営基盤が脆弱なために設備資金を調達することが困難な小規模企業者等を支援する	
事業概要	・創業及び経営基盤の強化に必要な設備を、長期低利の割賦販売により導入できる制度		

2. 成果参考指標

(1) 指標名	年間利用件数	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値			34.00	34.00	34.00	
式・定義	年間の貸与利用件数	実績値	34.00	17.00	34.00	21.00		
		達成率			50.00	100.00	61.80	%
指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
		目標値		0.00	0.00			
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
		達成率			0.00	0.00		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費 (b) (千円)	343,028	262,087
うち一般財源 (千円)	343,028	262,087

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月末時点で6件採択済。採択案件以外にも3件の相談案件あり。昨年以上の利用が見込まれる。</li> <li>・H27年度末をもって国制度が廃止されたが、廃止部分を補完する形で県単制度を拡充し、支援を継続。</li> </ul>
---

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・H25年度は21件の利用に留まったが、支援に対する需要は根強くあり、小規模企業者等の設備導入の促進に繋がっている。</li> </ul>
--

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用件数が目標に届かない年がある。資金調達力、担保力が弱い小規模企業者等の設備投資を支援するために必要な制度であり、利用実績を高めることが重要。</li> </ul>
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の周知不足</li> </ul>
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・制度を周知し、効果的な制度利用を促す必要がある。</li> </ul>

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施主体である「しまね産業振興財団」と連携し、県内事業者に対する周知に取り組む。</li> <li>・設備導入に際し、経営への助言等の実施をこれまでに以上に努め、効果的な設備投資となるよう支援を行う。</li> </ul>
---

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--